

公民館まつり

泉会

茶道クラブである「泉会」、会員として三度目の公民館まつりを体験しました。特に今回は（じゃんけんで負けて）泉会が実行委員を受けることになったため、大変でした。7月6日から3日間のまつりの準備が3月から始まることに、まず驚きました。幹事会、実行委員会、各部会等が終了後の反省会まで、およそ20数回の会合や作業がありました。



無論、全部出るわけではないにしても、私達の会は人数も少なく、とても1人や2人にこの役を頼めないという判断から、すべての日程を全員で出られる日を割り振るという対応になりました。

これほどの準備を重ねて三日間の公民館まつりが実施されていることや実行委員長をはじめ、幹事たちのご苦勞も良く分かりましたが、それだけにこの準備運営をもう少し簡略化（準備日程の圧縮や他公民館からの物品の借用をやめる等）し、お互いの負担軽減をどう図るかなど、検討課題ではないかと痛感しました。

年に一度のまつりは、確かに各部の良き発表の場であり、一般の方達との交流や公民館活動のPRの場として大事な行事です。私達にとっても緊張しながらのお茶会となりました。だからこそ、もう少し各所属団体が取り組みやすい体制に出来ないのでしょうか。ただ、これだけの取り組みを今まで続けてこられた方々に心から感謝と敬意を表します。

公民館まつりで感じたこと

書道の会

三日間、暑い中、役員の方はじめ関係者の皆様、お疲れ様でした。準備から後片付け迄数ヶ月かかったと思います。今までは作品を期日までに提出して展示し、終了したら展示品を引き取り、参加しているという自負がありました。今回は多くの人が展示室の部屋割からレイアウト、パネル準備等に動いている姿を垣間見ることができ、とても驚きました。それぞれ担当の仕事を熱意を持って取り組んでいる様子に感激し、次回は感謝の気持ちを持って飾り付け等に参加しようと思います。

ちょっと悲しかったのは、受付にいた時、お昼頃、親子で見えたお母さんが「子供に食べさせたいのですが、何かありますか？」と聞かれ、クッキーとマドレーヌを紹介したけど、がっかりして帰ってしまいました。「おまつりなのに屋台とか軽食くらいあってもいいのに」と、不満をもらしていました。日曜日の「うどん」だけでなく、入口あたりに屋台とかパン、おにぎり程度、欲しいですね。

ちょっぴり嬉しかったことは、音楽の集いの時、隣の席の女性が他県から引っ越して数ヶ月とのこと、知り合いも少ないのでコーラスサークルに入ろうかなと聞きに来たそうです。私の知り合いがコーラスとハーモニカで、これから出演するので少々説明して、サークル紹介パンフがあることを



伝えました。懸命に聞いていたようで終了後、入会するサークルを決めたと嬉しそうでした。少し

はPR出来たかなと・・・そして一人仲間が出来たと、こちら嬉しかったです。いろいろなサークルの人とおしゃべりができ、皆、いい顔して自慢するのです。私もサークル自慢ができるよう頑張ろうと思います。来年のおまつりに期待します。



初めて参加して

大野北公民館推進員 徳永玲子

幹事の方々をはじめ、役員、実行委員そして参加者の皆さん、大変、お疲れさまでした。私にとっては、大野北公民館に来て初めての公民館まつりでした。準備から片付けまで協力し合い、皆さん一人ひとりが自分たちの力で作り上げた、これぞ「公民館まつり」と感じたまつりでした。

初めての役割分担に戸惑っても、みんなで力を合わせれば、やり遂げる事が出来ることを、今回のまつりで私も目の当たりにしました。また皆さんの活動成果を見せて頂き、普段、お喋りをしているときの姿と違う、新たな一面を知る機会にもなりました。私自身、押し花や人生初の空手の板割りを体験し、楽しませて頂きました。

イベント盛りだくさんの3日間、忙しくも楽しい3日間。来年の公民館まつりでも、皆さんの活動成果が沢山見られるのを楽しみにしています。ありがとうございました。



(前日イベント 横須賀海軍カレー講習会)



(サークル交流会)



(音楽のつどい)



お礼・・・大震災復興義援金

(まつり実行委員会より)

東日本大震災の復興支援の募金を実施しましたところ、合計27,700円の義援金を頂くことが出来ました。

この義援金は相模原市を通じて、銀河連邦の一員である岩手県大船渡市にお渡ししました(口座振込)。ご協力頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。

